

名古屋市美術館

ICTを活用した鑑賞学習実践例

〔活動1〕《薔薇花》を「観察」しよう

〔活動2〕くらべて「ちがい」をみつけよう

対象学年の目安 小学2年生

所要時間 45分（1時限完了）

準備するもの 学習用端末（教員、児童数）、プロジェクター、投影用スクリーン

ワークシート（児童数）、筆記用具（児童数）

\*学習支援ソフトはロイロノートを使用

## 学習の目標

- ①今後、友達の作品などを鑑賞する際に役立つように、絵の特徴をことばで説明することを経験して、細部や全体をよく見る姿勢を身につける
- ②同じ題材（花）の比較や、友達の意見を通じて、さまざまな色使いやかたちの描き方にふれる
- ③同じ題材（花）の比較や、友達の意見を通じて、それぞれの作品に特長や個性、作者の工夫があることに気づく

## 学習の過程

	学習活動	留意点
5分	〔導入〕 名古屋市美術館の作品を鑑賞しよう (1)今日は美術館にある作品の画像をつかって、学習用端末で作品鑑賞することを知る	(1)ロイロノートをスクリーンに映して全員がよく見えるようにする（全員の意識をスクリーンに集中させるため、最初は個々の端末はロックする。以後、活動に応じて解除／再ロックする） (1)美術館に行ったことがあるか、どんな場所かなど質問する
20分	〔活動1〕 《薔薇花》を「観察」しよう (1)各自の端末で、真野紀太郎《薔薇花》を拡大するなどして自由に見る (2)《薔薇花》に描いてあるものを10個ワークシートに書く (3)挙手などにより1人1個発言し、何が書いてあるのか10個（以上）クラス全体で確認する (4)最後に全体をみて気づいたことを自由に発言する	(3)発言を教員（またはアシスタント）は板書するか、可能なら発言をロイロのカードに打ち込む (3)児童の意見に対して、「何色の～？」または「どんな（形の）～？」の質問をして掘り下げる。児童に、「何色／どんな」と必ず聞き返されると悟られるくらいに繰り返す。板書カードに追記する (4)細部までよく観察できたことを褒めつつ、別の視点をもたせるため、児童に挙手で発言させる。板書するか、(3)とは別の色のカードに打ち込む (4)意見がでなければ次の質問をする 「花瓶はどこに置いてある？」「バラは全部で何本ある？」「どうして一本だけ落ちている？」「バラの色はどんなふうに並べてある？」「どうしてこの色／柄のテーブルクロスを選んだ？」
15分	〔活動2〕 くらべて「ちがい」を見つつけよう (1)花の絵5点を拡大などしながら見比べる。1点だけ他とちがう作品を見つけて、ちがいをワークシートに書く	(2)発言を板書するか、ロイロのカードに打ち込む (2)「すごい」「きれい」「リアル」「じょうず」「おもしろい」などの大まかな発言には、「どこが？」「どうして？」の質問をして掘り下げる。板書かカードに追記する

5分	(2)わかったことを発言してクラス全体で意見を共有する  [ふりかえり] (1)「今度作品を見るときに気をつけたいこと」をワークシートに書く	(1)「今日の授業でわかったこと、気づいたこと」「友達の意見でなるほどとおもったこと」に変更してもよい (1)時間があれば児童に発言させる
----	---	--

### 内容のアレンジ

- ①小学2年生は端末への入力（キーボード、タッチペン）がまだ不慣れなため、紙のワークシートに記入するやり方とした。学年があがれば、直接ロイロのカードに入力して、教員用端末に送信、クラス全体で共有する方法も考えられる。
- ②撮影や画像の送信に慣れていれば、活動ごとにワークシートを撮影して、教員用端末に送信、クラス全体で共有する方法も考えられる。

### 使用画像

- ①人見弥《花》1935年以前 [https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data\\_id=531](https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data_id=531)
- ②三岸好太郎《花の静物（白百合）》1930年 [https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data\\_id=407](https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data_id=407)
- ③三岸好太郎《花》1932年 [https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data\\_id=494](https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data_id=494)
- ④西山翠嶂《牡丹》1940年代 [https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data\\_id=66](https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data_id=66)
- ⑤真野紀太郎《薔薇花》1943年 [https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data\\_id=1618](https://jmapps.ne.jp/ncam2/det.html?data_id=1618)

### 児童のコメント例

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. バラにとげがある</li> <li>2. ねっこかくきみたい</li> <li>3. バラの中に黄色いぶったい</li> <li>4. 赤いバラの中に光とかけ</li> <li>5. うすいピンクのぼらがうしろをむいていておちそう</li> <li>6. テーブルクロスは白と青とオレンジ</li> <li>7. ハトが花をもってきているもよう</li> <li>8. ツボみたいなかびん</li> <li>9. かびんはみどりっぽい茶色</li> <li>10. かびんの中に水</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・へんなもじがある、サイン？</li> <li>・はっぱの中にハムスターがいる</li> <li>・バラの中にハートがある</li> <li>・バラに顔があるみたい</li> <li>・かびんから白いバラがおちてる</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①→</li> <li>②→枯れている花がある。まださいてない花がある。この絵だけ白と黄色の組み合わせ。この絵だけバラがない</li> <li>③→ほかの絵はきれいにかいてあるのに、この絵だけらくがきっぽい。りったい感がない。枯れた花みたい。色がドライフラワーみたい。きれいな色じゃない。</li> <li>④→この花だけつぼにはいっていない。よく見たら虫がいた。しぜんにはえてる花だと思う。つぼはほんとうは絵の外にかいてあって見えてないだけかも。</li> <li>⑤→白いバラだけ落ちている。つぼの形がほかとちがう。つぼにとってがある。この絵だけカーテンがある。空がうつっている。</li> </ol>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルがある</li> <li>・テーブルの上のぬのはとがっているかんじ</li> <li>・カーテンがどうめい</li> <li>・明るくてちょっと外がみえる</li> <li>・</li> </ul>		